

読みどころ

「GIGA端末を活用した学びの質の向上」を目指し、「教育DX」に取り組んだことにより成果が出ています。

これから川崎市が取り組む教育DXにもご期待ください。



教育DXとは デジタルを活用して、学び方や学校のしくみそのものをアップデートすることです。

ICTで学びの質向上!

かわさきの教育

DX

Digital Transformation

川崎市では、デジタル技術を最大限に活かし、子どもたちの学び、先生のサポート、そして環境整備という3つの視点から様々な取組を行い、一人ひとりに最適な教育を実現します。この記事では、その一部としてGIGA端末を活用した学びの質の向上について紹介します。

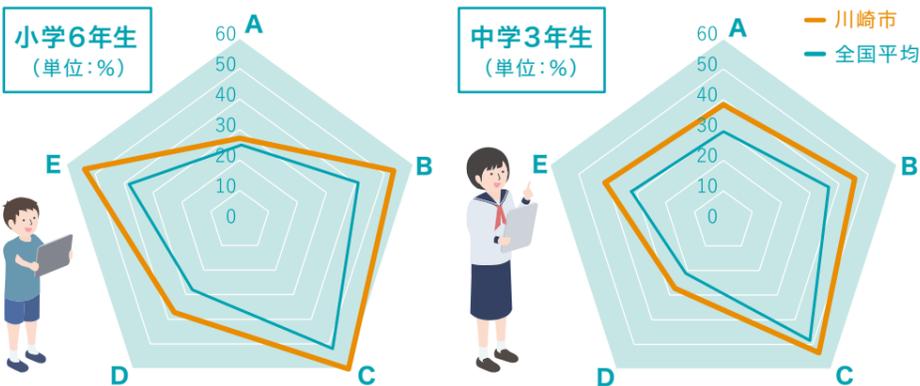


川崎市の教育DXの取組(一部)

- 先進的な取組をしている学校(LDX指定校、かわさきGIGAスクール構想推進協力校、生成AIパイロット校等)を中心に好事例を横展開
- GIGA端末を活用した「子どもが主語となる学び」の推進

川崎市では教育のICT活用が進んでいます!

〈 令和7(2025)年度 全国学力・学習状況調査の意識調査の結果 〉
A~Eの各設問で、最も肯定的な回答をした割合をグラフにしました。



- 設問
- A 授業でICT機器をほぼ毎日使用している
 - B ICT機器で文章を作成することができる
 - C インターネットを使って情報を収集することができる
 - D ICT機器を使って情報を整理することができる
 - E ICT機器を使ってプレゼンテーションを作成することができる

GIGA端末を「使っている」だけでなく、目的に合わせて「活用する」スキルが身につけていることがわかります。

教育DXの推進によるこれからの学び

カギとなるのは

情報活用能力 × 学びを調整する力

教育DXが進むと、学校は「自分に合った学び方を身につけ、みんなと協力して問題を解決する場所」へと進化します。その過程で、「情報を適切に活用する力」など、変化の激しい未来を生き抜くために必要な力を育みます。



学びの様子は
どう変わる?

進化1 共有しやすく



クラウド上で友達の考えや成果物を参考にしながら、自分の考えを広げたり深めたりします。

進化2 学びの見通しとふりかえり



ダッシュボード等で学びを蓄積し、自分の成長や課題に気づいたり次の目標を立てたりすることに役立ちます。

進化3 学び方や教材を選択



文字の他に、動画や音声から情報を得られるので自分に合った方法で理解できます。

進化4 より適切な指導・支援



先生は学習履歴等のデータをもとにしながら適切な指導・支援をします。

児童生徒の端末操作をサポートして、先生の授業進行を支えることも



「使い方がわからない…」という時も安心!

子どもたちの学びを支える
ICT支援員の配置

操作スキルの向上、端末活用の方法など、教職員の様々なニーズに対応した操作研修を行うとともに、主体的・対話的で深い学びを実現するための端末活用や授業改善に関する研修の支援のため、学校に月1回程度派遣されています。